

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-519636(P2005-519636A)

【公表日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-026

【出願番号】特願2004-503917(P2004-503917)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
A 0 1 K 67/027 (2006.01)
A 6 1 K 31/7088 (2006.01)
A 6 1 K 31/7105 (2006.01)
A 6 1 K 39/395 (2006.01)
A 6 1 K 45/00 (2006.01)
A 6 1 K 48/00 (2006.01)
A 6 1 P 31/12 (2006.01)
C 0 7 K 16/40 (2006.01)
C 0 7 K 19/00 (2006.01)
C 1 2 N 1/15 (2006.01)
C 1 2 N 1/19 (2006.01)
C 1 2 N 1/21 (2006.01)
C 1 2 N 7/04 (2006.01)
C 1 2 N 9/00 (2006.01)
C 1 2 Q 1/02 (2006.01)
C 1 2 Q 1/25 (2006.01)
C 1 2 Q 1/68 (2006.01)
C 1 2 Q 1/70 (2006.01)
G 0 1 N 33/15 (2006.01)
G 0 1 N 33/50 (2006.01)
G 0 1 N 33/53 (2006.01)
C 1 2 N 5/10 (2006.01)
A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 A 0 1 K 67/027
 A 6 1 K 31/7088
 A 6 1 K 31/7105
 A 6 1 K 39/395 D
 A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 48/00
 A 6 1 P 31/12
 C 0 7 K 16/40
 C 0 7 K 19/00
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 N 7/04
 C 1 2 N 9/00

C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/25	
C 1 2 Q	1/68	A
C 1 2 Q	1/70	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
C 1 2 N	5/00	A
C 1 2 N	5/00	B
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月8日(2005.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号2に示されたヒトPOSHポリペプチドに一致するポリペプチドをコードする核酸配列からなる、単離された核酸。

【請求項2】

配列番号1、または配列番号3からなる核酸配列を含む、単離された核酸。

【請求項3】

請求項1または2に記載の核酸を含む、発現ベクター。

【請求項4】

配列番号1および/または3の配列に、少なくとも90%、好ましくは95%、より好ましくは98%または99%、最も好ましくは100%一致する核酸配列の5~1000の連続するヌクレオチドを有するsiRNAからなり、細胞に導入されたとき、POSH mRNAおよび/またはPOSHポリペプチドのレベルを減少させる、リボ核酸。

【請求項5】

配列番号1および/または3の、15~30の連続するヌクレオチドを含む、請求項4に記載のsiRNA。

【請求項6】

配列番号15、16、18、19、21、22、24および25のいずれかからなる群から選択される配列を含む、請求項4または5に記載のsiRNA。

【請求項7】

請求項4~6のいずれか1項に記載のsiRNA、ならびにリポソームおよび薬学的に有効な添加剤からなる群から選択される追加化合物を含む、ウイルス疾患を治療するための組成物。

【請求項8】

配列番号2に一致するアミノ酸配列からなる、単離されたポリペプチド。

【請求項9】

配列番号2に示された前記ヒトPOSHポリペプチドまたは少なくとも20の連続するアミノ酸を含むそのフラグメント、および試験物質を提供すること、ならびに前記POSHポリペプチドまたはそのフラグメントと相互作用する試験物質を同定することを含む、抗ウイルス薬を同定する方法。

【請求項10】

配列番号1または配列番号3に示されたPOSH核酸および試験物質を提供すること、

ならびに P O S H 核酸と結合する試験物質を同定することを含む、抗ウイルス薬を同定する方法。

【請求項 1 1】

前記試験物質は、リボ核酸、アンチセンスオリゴヌクレオチド、RNA i コンストラクト、DNA 酵素およびリボザイムである、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 2】

配列番号 1 および/または 3 の配列に、少なくとも 9 0 %、好ましくは 9 5 %、より好ましくは 9 8 % または 9 9 %、最も好ましくは 1 0 0 % 一致する核酸配列の 5 ~ 1 0 0 0 の連続するヌクレオチドを含む、ウイルス成熟における P O S H 活性を阻害する RNA i コンストラクトを含む、ウイルス疾患を治療するための薬学的組成物。

【請求項 1 3】

ウイルス成熟を阻害する治療組成物を調製するための、P O S H ポリペプチドのユビキチン関連活性を阻害する物質の使用。

【請求項 1 4】

ヒト P O S H DNA (配列番号 1) にハイブリダイズし、かつユビキチンリガーゼ活性を保持する核酸によってコードされる、P O S H ポリペプチドまたはそのフラグメントのユビキチン関連活性を試験する方法であって、ユビキチン関連活性と両立する、ユビキチン、E 1、E 2 および前記 P O S H ポリペプチドまたはそのフラグメントを含む混合物を形成すること、ならびに前記ユビキチンが前記 P O S H ポリペプチドまたはそのフラグメントと結合するかどうかを検出することを含む、方法。

【請求項 1 5】

P O S H ポリペプチドのユビキチン関連活性の阻害剤を同定するためのアッセイであって、(i) ユビキチン、E 2 および P O S H ポリペプチドを含む混合物を、P O S H ポリペプチドのユビキチン化を促進する条件下で提供すること、(i i) 前記ユビキチン接合系を試験物質と接触させること、(i i i) 前記試験物質の存在下での前記 P O S H ポリペプチドのユビキチン化のレベルを測定すること、および(i v) 前記試験物質の存在下でのユビキチン化の測定されたレベルと好適な基準とを比較することを含み、候補物質の存在下で前記 P O S H ポリペプチドのユビキチン化が低下すれば、調節蛋白質のユビキチン化の阻害物質であることを示す、アッセイ。

【請求項 1 6】

前記ユビキチンは、ユビキチン接合系が E 1 およびアデノシン三リン酸をさらに含む非接合型ユビキチン、活性化された E 1 : ユビキチン接合体、および活性化された E 2 : ユビキチンチオエステルからなる群から選択される形態で提供される、請求項 1 5 に記載のアッセイ。

【請求項 1 7】

配列番号 1 5、1 6、1 8、1 9、2 1、2 2、2 4 もしくは 2 5 に示された RNA i コンストラクト、または配列番号 3 0 に示されたポリペプチドからなる P O S H の阻害剤、ならびに薬学的に許容可能な添加剤を含む、ウイルス疾患を治療するための治療的組成物。

【請求項 1 8】

ウイルス感染を阻害する治療組成物を調製するための、配列番号 1 5、1 6、1 8、1 9、2 1、2 2、2 4、2 5 または 3 0 のいずれかからなる P O S H 活性を阻害する物質の使用。

【請求項 1 9】

配列番号 2 に示されたポリペプチド配列を含む、ユビキチン化された P O S H ポリペプチド。